



Upside Japan

THE TECH INSIDER

www.upsidejapan.com

! ホーム ! UPSIDEについて ! UpsideToday米国版 !

! コラム ! ビジネスモデル ! 注目の企業 ! キーパーソン ! 業界動向 ! アジア最新ニュース ! ITな暮らし !



Upside Japan / コラム



サンノゼとプラハと横浜と 中村伊知哉@LANTIC【第12回】

1999年11月22日

注目記事

- ・MSNが音楽配信サー
ビスに参入!
- ・ネットのコンテンツで金
は取れるのか?
- ・マイクロソフトがTRAN
スメタと提携!
- ・iモードがアメリカにやっ
てくる!
- ・ハイテク株よ、底の底
まで落ちてくれ
- ・略語の山に埋もれた
B2Bマーケット



デジタル用語辞典:

検索



サンノゼの空はいちめん水色。お絵かきソフトでぺたんこ塗りつぶしたようで、工夫がない。西海岸だから仕方ない。おてんとうさまはギラギラしているが、ボストンよりずいぶん涼しい。気持ちいい。

人間、こんな脳天気な所にいると、ペアになりませんか。そんな心配は無用。一発あてようとシリコンバレーに集まった天才たちは、**ガリガリ働いている**。もったいないね。こんな天国、飲んで食ってポオっとしてりゃいいのにね。

サンノゼ:でも、なぜSan Joseをサンノゼって発音するんだろう? そもそもスペイン語ではサンホゼだろうし、JがN音に変化するのなら、ジャパンはナパンで、ジャッキー・チェンはナッキー・チェンってか? それじゃ榊原郁恵じゃん!

ガリガリ働いている:シリコンバレーでガリガリ働いているのは、多分、ストックオプションで自社株をもらえる人たち。一生懸命働くことで会社の業績を上げ、株を売って大金持ちになるというのが魂胆だ。サラリーだけをもらっている人たちは、5時になればトットと帰ってしまうのが普通。

インターネットはかつて、選択肢のひとつだった

そういう自分はお仕事だ。**インターネット'99**。去年のジュネーブに続いて今回で9回目となるインターネット協会の世界大会。人類の祭典。1500人ぐらい集まりましたかな。eBayや3ComのCEO、インターネットの父**ヴィント・サーフ**氏、元アメリカ大統領補佐官**マイケル・ネルソン**氏、日本からは村井純さん、石田晴久さん、会津泉さん、高橋徹さんら、この世界の常連の顔。その中のセッションで、私が関わったジュニアサミットやMIT大川センターの話があったんだが、参加した本当の理由は別にある。

これに出席したのは5年前のプラハ大会以来なのだが、当時私は郵政省からパリに派遣され、スパイのようなことをしていた。プラハでは欧米の政府関係者がゾロゾロ集い、プレゼン合戦をしていた。アメリカはNIIを唱え、欧州は国家的インフラの必要性を訴えた。日本は競争促進+光ファイバー政策を秘めていたが、政府代表はおろか、役所がらみは私ひとりで、発言の場がない。あせった私は欧州代表にメモを渡し、ステージで読み上げてもらった。

各国政府が草の根インターネットを手なづけようとしていた。できると思っていた。インターネットは便利な道具なのか、アメリカの陰謀なのか、評価が分かれていた。キャリアにとっても、トラフィック増の朗報なのか、不倶戴天の敵なのか、よくわからなかった。インターネットはいろんなネットワークの中の一つの選択肢で、まだ観察する余裕があった。

インターネット'99:6月に開催されたINET'99のこと。ちなみにINET2001は横浜で開催された。INET2001は、2000年6月にストックホルムで開催される予定。

ヴァイント・サーフ: Vinton G. Cerf。米MCIワールドコムの上級副社長(インターネットエンジニアリング担当)にて、ISOC(インターネットソサイエティー)の会長。だが、サーフ氏の肩書きにもっともふさわしいのは、“TCP/IPの生みの親”であろう。UCLAに在籍していた'69年には、インターネットの前身となるARPAnetの開発に関わり、ダグラス・エンゲルバート氏(マウスの発明者)らとともに4つのノードのうちの1つを立ち上げた。MCIワールドコムのサイト内にある[Cerf's Up](#)というコーナーは、サーフ氏の生の声が聞けるという意味で必見だ。

マイケル・ネルソン: Michael Nelson。ゴア米副大統領の側近として、大統領府にて国家情報基盤(NII)構想を担当。来日経験も多く、ネットワーク関連の講演を数多くこなしている。

NII: National Information Infrastructure(国家情報基盤)。あらゆる情報デバイスの発展/普及を目的とする政府組織。公式サイトは[こちら](#)。

普及までのあと1マイル、本当は何マイル?

あれから5年、事態は不安をよそにウツソーのように進み、誰の思惑も超えて、インターネットはネットワークを制覇した。今回、私はまた日本がパッシングされやせんかと気になって、ここまで来てみたが、もうそんな時代ではなくなっていた。議論はインフラ作りから、利用法やコンテンツにシフトしていた。プライバシー、セキュリティー、教育、EC。政府関係者の姿も少なく、すでに理屈から実態へ、学問からビジネスへと進化していた。

それでいい。だがそれにしてもまだインフラはガタガタしているぞ。バックボーンはアメリカでもNGI(次世代インターネット)やInternet2といった国家型の取組が続いていて、日本もギガビットネットワークという研究開発用ネットワークが構築されていて、しっかりした足どりのように見える。問題は加入者回線、ラスト1マイルだ。

今年アメリカでは電話会社のxDSLとCATVインターネットががっぷり競争を始めた。高速インターネットで個人客を奪い合っている。これから衛星インターネットが本格化し、デジタルテレビもやってくる。全てがインターネットにシフトしていくのだろうか。

ベル・アトランティックなどの地域電話会社、AT&TやMCIワールドコムなどの長距離系、クエストなどのデータ系、そしてCATVや衛星会社が、ジタバタとくっついたり離れたりしている。ここにAOLやらマイクロソフトやらが一緒になって、インフラからサービスやコンテンツまでまとめて個人を囲い込む。

インフラ代としてユーザーから取り立てたカネをアプリケーションや

端末に回したりしていくなら、いつまでたってもインフラは安くないね。アメリカはスゴイっていうけど、あぶなっかしいな。1年後も見通せないもん。

次世代インターネット: 米国は'98年から、次世代インターネット(NGI)の開発に毎年1億ドル(約105億円)を投じている。日本では'96年から5か年計画で、郵政省主導で技術開発を進めている。次世代ネットワークにおける課題としては、テラ/ペタビットネットワークの確立、新たなプロトコルの確立、高信頼性の確保、コンテンツ保護のための電子透かし技術、認証情報を埋め込むことによるホームページの真正性証明、などが挙げられている。

Internet2: 次世代のインターネット技術とハード/ソフトを開発するために進められている共同の学術研究、もしくはその学術研究組織。現行のインターネット技術では困難とされている遠隔医療技術/デジタル図書館/仮想研究所などを実現するのが主な目的。Internet2には米国の大学160校以上をはじめ、多くの企業や政府組織が参加している。公式サイトは<http://www.internet2.edu/>。

xDSL: DSL(デジタル加入者回線)を利用した高速ネットワーク通信技術の総称。ADSLやRADSL、HDSL、VDSLなどが含まれる。詳しくはアスキー・デジタル用語辞典の「[xDSL](#)」の項を参照されたい。

10年後のインフラは、Y2Kは大丈夫か?

日本の場合、独占的なNTTがISDNにどっぷり投資してきたから、xDSLに移行していくことは展望しにくい。CATVもまだスタート地点にいる。じゃあどうする。CATVを伸ばすか? 海外キャリアに暴れてもらって競争を起こすか? NTTを規制してムリヤリxDSLやらせたり光ファイバーを格安で引かせたりするか? テレビやケータイの地上波を使って攻めるか? どれがお好き?

いずれにしても、気の長い話だ。本来インフラってそうやってぼちぼち考えるものなんだよね。だってインフラだもん。10年後とは言わないまでも、せめて1年後が明るく見通せるようにしたいもんだ。逆かな。せめて10年後、かな。

さて来年、インターネット2000は横浜だ。日本から何か打ち出せるといいね。Y2K、日本だけは大丈夫でした! とか。冗談。世界人類が平和でありますように。

ISDN: 日本は世界一ISDNが普及している国である。ISDN対応の公衆電話なんて、外国じゃ滅多にみない(っていうか、日本以外にあるの?)。そのうち、海外の通信事業者が“ISDNは非関税障壁である”と言い出すのも時間の問題だろう。

中村伊知哉 プロフィール



マサチューセッツ工科大学 客員教授

'61年生、京都市出身。京都大学経済学部卒。

在学中はロックバンド“少年ナイフ”のディレクターで活躍。
'84年、郵政省入省。'93年からパリに駐在し、'95年に帰国後は郵政大臣官房総務課課長補佐を務める。'98年、郵政省を退官し、(株)CSK特別顧問に就任。同年、マサチューセッツ工科大学 客員教授に就任。

著書に『インターネット,自由を我等に』(アスキー出版局)などがある。趣味は、ずばり“メディア”。

ホームページ:<http://www.media.mit.edu/ichiya/jpn.htm>

(C)Hajime Anzai

▶[中村伊知哉@LANTIC【連載リスト】](#)
(<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

(中村伊知哉)

! ASCII24 ! ASCII24 Business Center ! 日刊アスキー Linux ! アスキーデジタル用語辞典 !
! auto-ASCII24 ! Shes.net ! ASCII Job Serve. ! アスキートップ !

! [個人情報の取扱について](#) ! [編集部へのコンタクト\(info@upsidejapan.com\)](#) ! [広告掲載のご案内](#) !

Copyright (C)1993-2000 Upside Media Inc.
Copyright (C)2000 ASCII Corporation.
All rights reserved.